

日本での交換留学

アンカラ大学

カシュプナル・ジェレン

学籍番号 2590075



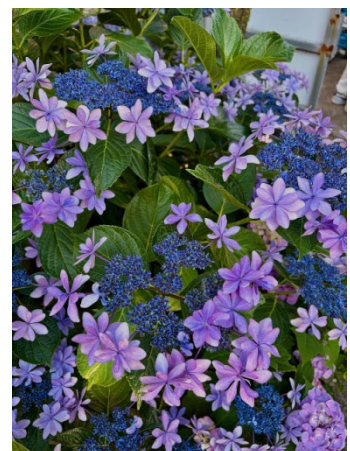
日本で過ごしたこの1年間の交換留学は、私にとって本当に特別で、かけがえのない経験となりました。1年前、初めて日本に来た日のことを今でもはっきり覚えています。家族や友人、そして慣れ親しんだ生活から離れ、初めて海外で暮らすことになりました。不安もありましたが、新しい文化や新しい人々、そしてこれまでとはまったく違う環境に触れることへの大きな期待とわくわくした気持ちでいっぱいでした。

この1年間で、私は学校で学んだ知識以上に、本当に多くのことを学びました。日本の文化に触れ、さまざまな国から来た人たちと出会い、友達になり、物事をさまざまな視点から考えられるようになりました。そして、自分自身を見つめ直す機会にもなりました。自分の長所を知ることができた一方で、これから成長していくべき点にも気づくことができました。

この1年間で、たくさんの素晴らしい思い出を作ることができました。しかし、正直に言うと、いつも順調だったわけではありません。人生は必ずしも思い描いた通りには進まないということを実感しました。失敗したことや後悔したこともあり、「あの時こうしていればよかった」と思う場面もありました。

それでも今振り返ると、自分を最も成長させてくれたのは、まさにそのような困難な時間だったと思います。大変な経験があったからこそ、忍耐することや前向きに進み続けることの大切さを学ぶことができました。

そのような困難があった一方で、この1年間でできる限り楽しもうと心がけました。何年経っても忘れられない思い出をたくさん作ることができました。何気ない会話や、授業中のちょっとした出来事でさえ、今では私にとって大切な思い出になっています。



最後に、私の今までの交換留学を無事に過ごすことができるように手伝ってくださったみなさんに感謝を申し上げます。毎月の振り返りシートを確認していただき、授業への参加を認めてくださった指導教員の松岡先生に、心より感謝申し上げます。また、いつも親切に声をかけてくださったチューターの北村さんにも、感謝の気持ちでいっぱいです。さらに、交換留学生を担当し、常に私たちを支えてくださった市原先生、国際課の大野様、授業を担当してくださったすべての先生方、そして音羽館の管理室の皆さん、相談に乗っていただき、いろいろな問題を解決して下さり、本当にありがとうございます。そして何より、この1年間で出会い、何年経っても忘れられないほど素晴らしい思い出を一緒に作ってくれた友人の皆さん、本当にありがとうございました。